

OGS科 2 年生 SSH課題研究中間発表報告会

去る 11月16日（火）にGS科の2年生がGS II や放課後の時間を活用して取り組んでいる課題研究の中間報告会を行いました。報告会は本校の教員や日頃から大変お世話になっている大学の先生方（京都大学名誉教授 馬場正昭先生、兵庫県立大学教授・兵庫県立人と自然の博物館主任研究員 高橋鉄美先生、甲南大学大学院教授 山本常夏先生）にお越しいただいたのをはじめ、本校教員、2年生の普通科2クラス、GS科の1年生など、多数の参加者を迎えて行われました。

一つの班ごと3～4名で構成された全12班がそれぞれの研究に至る動機、その意義や、自分たちの研究の現在位置や今後の展望を「パネルディスカッション」の形式で発表しました。ポスターにまとめた班やスライド形式に説明を展開する班など、班ごとに個性が見受けられましたが、聴き手の立場なども意識しつつ、取り組みの現況や成果をできるだけ理解してもらえるように工夫して発表しました。

質問や指摘を受け、双方向のやり取りで盛り上がるブースがたくさんあったと思います。そしてその中から今後の研究への道筋を照らすものや、新しい視点、今後に向けての課題など多くの有意義な指摘や助言を受けることのできた収穫の多い一日にすることができました。

また、普通科の2年生も「総合的な探究の時間」に探究活動に取り組んでいます。普通科、GS科の同じ2年生同士、このディスカッションを通して今後の探究の参考にできる良い機会となったことだと思います。今後も切磋琢磨する存在であることを期待しています。

GS科2年生はこれから今回の指摘や助言も参考にして来年3月の中間発表会、そして6月の課題研究発表会に向けて研究をますます深めていくことになります。



OGS I 甲子園開催

学校設定科目「GS I」の時間に、大会形式の「GS I 甲子園」を開催しました。GS科1年6組を主体に、2年生GS科からも2チーム、そして今回も34回生の先輩が2名参戦してくれました。

個人戦、団体戦、実技戦の三段階審査を、全12チームが競い合いました。「競技」が進む中、直前の課題がなぜそうなったのかを振り返る間もなく次々と進み、思考はもちろん、頭の切り替えも求められる一日となりました。後半の「実技の部」は校長先生が出題者として登場しました。与えられた課題に各チームとも血眼になり、意見をぶつけ合いました。34回生の先輩チームも熱が入った様子で、まるで在校中のような表情をみせてくれました。

最終結果発表…優勝したのは…2年生チーム！「科学の甲子園」に出場予定の生徒が参戦しましたが、見事に先輩の貫録を見せつける形となりました。1年生の各チームも前回とはメンバー構成が異なりましたが、それぞれのチームが協同して取り組むことができました。1年生と2年生がお互いの存在を意識しながら、今後もGS科、北高を盛り上げてください。

○第45回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会出場

11月6日(土)、7日(日)に県立神戸高校とバンドー神戸青少年科学館で開催された兵庫県総合文化祭自然科学部門発表会で物理部・生物部・科学部が発表を行いました。口頭発表が無観客だったのは前年と同様でしたが、ポスター発表はやや規制の緩和を認めることができ、会場内の人数制限が設けられたものの、参加各校がお互いのポスター発表を見聴きすることができました。

本校生物部のブースは人だかりができるほどの盛況ぶりで、「パネル発表優秀賞」に輝きました。各部とも昨年を経験している2年生が中心でしたがどの部の発表にも貫録のようなものがあふれていました。先輩たちの雄姿を目に焼き付けた後輩たちはその思いを引き継いでくれることでしょう。

- ・生物部（普通科3名） **パネル発表優秀賞、奨励賞**
「カワムツの攻撃行動を引き起こす鍵刺激とは」
- ・化学部（普通科1名,GS科6名） **優良賞**
「還元剤に着目したブルーボトル反応の制御」
- ・物理部 **奨励賞**
「運動中に重心位置が移動する物体の速度変化」

令和3年度 兵庫「咲いテク」事業 参加者募集

「地質構造と岩石・鉱物の魅力に触れよう」

令和4年 1月23日（日）9：50～15：00

会場：県立姫路東高校（予定）

【目的】

(1) 地学に強い興味・関心を持った生徒が集い、互いに切磋琢磨することで、地学に対する知識・技能を高める。

(2) 地質について学んだり、現在学会で話題になっている岩石や鉱物のトピックについて身近な方法で観察や実験を行ったりすることで、地学的なものの見方や考え方を身につける。

【目的】

(1) 放散虫を切り口にした構造資質学についての講義

(2) 生活と密接にかかわる地質図を読んだり描いたりする実習

(3) 岩石・鉱物学に関する観察と実験（偏光顕微鏡による観察や岩石の過熱実験など）

※12月17日 校内締め切り